

I 教育目標（園是）

正しく 強く 仲良く

II めざす園児像（園の誓い）

- (1) 私たちは 仏さまに手を合わせます
- (2) 私たちは お約束を守ります
- (3) 私たちは ありがとうございます
- (4) 私たちは お友達と仲良くできます

III 教育方針

生命の尊さ 感謝の心を育む

～あるがままの姿で 一人ひとりを育てる～

IV 研究テーマ

「友だちとのかかわりを深め、遊びを楽しむ幼児の育成」

～かかわりを生み出すための環境の構成・援助の工夫～

V テーマ設定の理由

本園は、仏教精神を基本精神として教育活動を行っており、園生活の随所で仏様を念じ他者に感謝する心を培っている。そうした教育活動を行っていることもあり、落ち着いた生活態度の子どもが多く見られる。また、園児たちの家庭も落ち着いた家庭が多いことから基本的な生活習慣が根付いている子どもも多い。

子どもたちが人や社会とつながっていく3歳、4歳、5歳の成長時期にとって、現代のITを代表とした情報化の発達に伴う人と人とのコミュニケーション不足や、数年間にわたるコロナウイルス感染拡大防止への取り組みなどは、人との出会いやつながりを少なくしていると考えられる。

こうした状況にあるからこそ、今、子どもたちにとって「人とのかかわり」は非常に大事なものであり、幼稚園にとってもさらに重視すべきものであると考えた。

昨年度までの本園の研修の取り組みは、「人間関係」に視点を当てて行ってきた。その成果は次のように考える。子どもたちは教師との信頼関係を基盤に友だちとのかかわりを広げ、安心して自分の気持ちを伝えながら、共に生活する心地よさや充実感を味わうことが大事であり、そうしたことを教師が大切にすることにより、さらに子どもたちは人やもの、こととかかわりを強めることとなるということに教師自身が気づき、次の段階へのステップとしようとしている姿が見られるようになってきたことが成果である。しかし、どうしても目の前にある教育活動を進めることのみに力点が置かれてしまうことが課題として挙げられる。

そこで、今年度も継続して「人間関係」を中心とした研修を深めることとした。研修を進めるにあたり、研究テーマに具体性を持たせるため、「友だちとのかかわりを深める」ことを主題とし、かかわりを生み出すために教師は何をすべきかを統一した視点とすることにした。

VI 研修の方法

1 合同研修

①ねらい

- ・幼稚園教育を推進するための先進的な取り組みや、本園の課題に即した内容について研修を深める機会とする。
- ・園外で研修した教員による還流報告で研修会を深める。

②方法

- ・幼児教育に関して造詣の深い講師や先進的な取り組みをしている講師等を招聘し、本園の全教員を対象に講演会や実技演習等を実施する。
- ・今日的課題について、学園内で資料を作成し研修会を開催することにより研修を深める。
- ・園外の研究大会や研修に参加した教員による還流報告をすることにより、全体の教員が研修を深める機会とする。

2 月例園内研修会

①ねらい

- ・園児の日常を基にしたDVD教材を視聴したり他の資料を使ったりすることにより、園児の言動を教員としてどう捉え、指導に活かすかを考える機会とする。
- ・教育活動時における園児の様子を話し合うことにより、園児の成長の様子を捉えるとともに、主体的な活動について理解する機会とする。

②方法

- ・DVD教材を用いて、話し合ったりまとめたりすることにより研修を深める。
- ・資料に基づいて話し合い、意見交換の中から共通理解を図る。

3 DVD研修

①ねらい

- ・特別な支援を要する子どもたちに対する支援のあり方を考える機会とする。

②方法

- ・長期休業中に個人でのDVD視聴による研修とする。

4 研究保育研修

①ねらい

- ・研究保育を実施することにより、自分の保育のあり方を振り返る機会とする。
- ・事後の話し合いやまとめにより、各自教員が保育の質の向上を目指す。

②方法

- ・原則として全担任が年間2回の公開保育を行い、事後研修を含めて研究保育として位置付ける。
- ・事後研修後に「研究保育の実施報告書」を園長に提出するものとする。

③内容

- ・領域として、幼稚園教育要領の示す「健康」「人間関係」「環境」「表現」「言葉」の中から選択するが、**令和7年度は「人間関係」を主とした主題として取り組む。**
- ・原則として年間2回の研究保育のテーマは同一のものとし、年間を通して教員の成長を把握する。

④令和7年度の重点的なねらい

本園は、平成28年度から幼稚園教育要領の示す5分野の中で、特に「人間関係」に注目して研究保育を進めてきており、研究テーマを「友だちとのかかわりを深め、遊びを楽しむ幼児の育成」～かかわりを生み出すための環境の構成・援助の工夫～と設定した。テーマ設定にも示したが、子どもたちのコミュニケーション能力を培うために、「人とかかわり」を重視した教育活動を展開するが、そのためには、研究保育に際し各教員がその展開の中で、「友だちとのかかわりを深める」ことに注目した活動を含め、子どもたちの動きに注目することとする。

5 合同研修の年間計画

①園内研修計画に関する研修（4月7日）

- ・園内研修の進め方について

②合同研修

- ・夏季休業中における講師招聘の課題研修
- ・二学期中における講師招聘の課題研修

③DVD研修

- ・夏季休業中における研修

④還流報告研修

- ・園外の研究大会や研修会等の参加者による還流報告（適宜実施）

⑤月例研修

- ・毎月の職員会議の場において、特別支援教育コーディネーターによる幼児教育に関する研修を行う。